

## 令和3年度 おやベルネサンス総合戦略事業の点検・評価について

### (1) おやベルネサンス市民会議【外部組織】による「事業の評価（外部評価）」について

総合戦略事業について、おやベルネサンス総合戦略では、P D C Aサイクルの確立により、K P I（重要業績評価指標）を軸とした施策の点検・評価を定期的・段階的に行い、達成・進捗状況が思わしくない施策については、優先度に応じて重点的に取り組むなど、改善へと結び付けていくこととしています。

効果検証の客観性を担保するため、外部組織である「おやベルネサンス市民会議」による外部評価を行うこととしており、今年度は、令和4年10月28日（金）に「おやベルネサンス市民会議」を開催し、令和3年度の総合戦略事業について外部評価を実施しました。評価の主な考え方は次のとおりです。なお、評価の基準等は別紙資料1に示しているとおります。

(ア) 第2期おやベルネサンス総合戦略事業に位置付けされている事業を評価。

(イ) K P I（重要業績評価指標）の目標値に対し、コロナ禍による影響を考慮しつつ、令和3年度の実績値の達成度を参考にして「戦略目標の K P I 達成に有効であったか」、「有効とは言えない」かを判定。

<外部評価の結果>

①「戦略目標の K P I 達成に有効であった」	136 事業
②「戦略目標の K P I 達成に有効とは言えない」	0 事業

うち 31 事業については、K P I 達成度は芳しくないものの、コロナ禍の影響を受けたことによるもの等であり、事業自体は K P I 達成に資するものとして、「戦略目標の K P I 達成に有効であった」と判定された。

### (2) おやベルネサンス推進本部【庁内組織】による「点検・評価」について

「おやベルネサンス市民会議」による外部評価を踏まえ、総合戦略の施策内容に掲出されている事業について、「おやベルネサンス推進本部」による点検・評価（「今後の方針」の検討・協議等）を行いました。なお、各事業の点検・評価の結果は別紙資料2のとおりです。

<点検・評価の結果>

●報告事業数	136
①事業の継続	130
②事業の発展	4（事業番号 65、88、106、136）
③事業の改善	2（事業番号 24、113）
④事業の中止	0
⑤事業の終了	0

■おやベルネサンス総合戦略事業 評価基準等

資料1

No.	評価項目	評価者	評価区分	評価基準
1	事業効果	担当課	① 地方創生に非常に効果的であった	全てのK P I が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ※K P I の達成度の目安：40%以上
			② 地方創生に相当程度効果があった	一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ※K P I の達成度の目安：20%～39%
			③ 地方創生に効果があった	K P I 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 ※K P I の達成度の目安：0%～19%
			④ 地方創生に効果がなかった	K P I の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 ※K P I の達成度の目安：0%より低い(マイナス)
2	事業の評価	おやベルネサンス市民会議 【外部評価】	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった
			② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
3	今後の方針 (R5年度以降)	おやベルネサンス推進本部	① 事業の継続	計画通りに事業を継続する
			② 事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
			③ 事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)
			④ 事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)
			⑤ 事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)

※評価区分は、内閣府の地方創生関係交付金の効果・検証報告の選択肢に準拠

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

資料 2

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)	R3年度	R3年度	目標値
									値 (R1)	実績	達成度	(R6)
1	◎商工業振興対策事業	市内中小商工業の振興、経営の安定・改善を図り、定住人口の増加に寄与するため、助成金・利子補給金の交付を行う。	小矢部市商工会からの推薦を受け、㈱日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金融資制度要綱に基づく資金融資（マル経融資）を受けた小規模事業者に対し、償還金の利子の一部を補給金として交付。【交付実績：10件、147千円】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	製造品出荷額等（製造業）	79,300百万円 (H30)	83,730百万円 (R2) ※①	105.6%	現状維持
	中小企業金融対策事業	市内中小企業の円滑な資金繰りを支援し、企業経営の安定化に寄与することで、地域産業を活性化させ、雇用を創出し、定住人口の拡大を図る。	①富山県及び小矢部市の融資制度に基づき、金融機関に融資原資の一部を預託することで、金融機関による中小企業への融資実行を促進する。 【預託実績：100,000千円】 ②商工中金の一般融資原資を中小企業育成資金として預託することで、融資実行を促進する。 【預託実績：10,000千円】 ③富山県中小企業融資制度のうち、「小口事業資金」「緊急経営改善資金」に係る信用保証料の一部を助成する。 【交付実績：2件、200千円】 ④中小企業者の保証料負担軽減のため、富山県信用保証協会に対し、保証料補助金を交付する。 【交付実績：3件、65千円】 ⑤新型コロナウイルス感染症対応資金の借入れに係る保証料助成及び利子補給を行った。 【交付実績：2件、249千円】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた	コロナ禍による売り上げ減に加え、物価高騰による利益率の減もあり、事業所は非常に苦しいため、このような事業は継続はもろろん、コロナ対応の制度も積極的に行って欲しい。	事業の継続	年間商品販売額（小売業）	28,224百万円 (H28) ※②	R5.3公表予定	—	現状維持
	経営改善普及事業	商工会が行う小規模事業者の指導及び商工業者の振興と安定を図るための事業に要する経費について補助金を交付することで、市内商工業の総合的な発展に寄与し、地域活性化、雇用の創出、定住人口の拡大を図る。	①小矢部市商工業振興事業補助金（商工会が行う経営改善普及事業等に対する補助）【交付実績：9,068千円】 ②小矢部市商工業振興協同事業助成金（商工会と企業協会の共同事業に対する助成）【交付実績：50千円】 ③町おこし支援事業補助金（津沢地区で開催される「阿曾の市」に対する補助）【交付実績：200千円】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	※①…工業統計調査、※②…H28経済センサス				
	専門家派遣活用事業	強化したい事業分野に応じた専門家の診断を受けることで、市内企業（事業所）の経営強化を支援する。	小矢部市中小企業支援専門家派遣事業補助金【交付実績：2件、30千円】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
5	◎企業立地助成事業	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。	市内立地企業（2件）に助成金27,381千円を交付した。また、石動駅南地区に「アルビス」と「ウエルシア」の進出が、津沢地区に「Vドラッグ」と「クスリアのアオキ」の進出が決定した。	地方創生に非常に効果的であつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	企業立地助成金助成件数（累計）	35件 (H30)	38件	50%	41件
6	◎販路拡大支援事業	中小企業者等の販路開拓等を支援し、本市における産業の振興と発展を図るため、見本市等に出席する事業者に対し、その会場費等の一部を補助する。	販路拡大支援事業補助金【交付実績：1件、262千円】	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	販路拡大支援助成件数（累計）	7件 (H30)	13件	20%	37件
7	サテライトオフィス整備等事業	市内にサテライトオフィスを新設した事業者に対する補助により、U I J ターン及び企業誘致の促進を図る。併せて、ワークライフバランスの充実、新型コロナウイルス感染症対策の促進を図る。	富山県サテライトオフィス誘致プロジェクトに参画し、地方進出に興味を持つ企業とのマッチングに参加した。 サテライトオフィス整備等事業補助金【交付実績：なし】	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
8	◎創業支援事業	関係機関と連携し、情報提供等を行うことで、女性や若者等、様々なニーズに対応した地域における創業を促進する。	小矢部市商業インキュベータ施設使用者3人（入居率100%）	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	商業インキュベータ独立件数（累計）	0件 (H30)	0件	0%	2件
9	◎事業承継促進事業	市内で創業を希望する者と廃業を予定している者とのマッチングを図るとともに、起業を支援し、空き店舗の解消につなげる。	商工団体、金融機関、民間支援機関や、国、県、市町村等の公的支援機関からなる「富山県事業承継ネットワーク」と連携し、事業承継に関する情報提供や広報協力等に取り組んだ。 【後継者不在等による相談件数】… ①事業を売りたい：1件、②事業を買いたい：1件、③親族内承継：5件	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
10	◎産業用地管理事業（産業用地の管理、新産業団地適地調査）	小矢部フロンティアパーク及び東部産業団地内の市有財産等について適切な管理を行う。また、創業者支援団地及び旧中小企業大学校候補地などの用地管理を行うとともに今後の活用のための調査・研究を行う。	①小矢部フロンティアパーク、東部産業団地の維持管理を行った。 ②創業者支援団地、旧中小企業大学校候補地の用地管理を行った。	地方創生に非常に効果的であつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	工場立地用地取得件数（1,000㎡以上、累計）	24件 (H30)	32件	66.7%	36件
11	企業立地対策事業（県企業立地セミナー、とやま呉西圏域ビジネス交流会）	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。	富山県企業立地セミナー（大阪）ととやま呉西圏域ビジネス交流会（名古屋）への参加や、企業訪問等を通じて本市の立地をPRした。 ・富山県企業立地セミナー 85人参加 ・とやま呉西圏域ビジネス交流会 130人参加	地方創生に非常に効果的であつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					

基本目標1 魅力ある「しごとづくり」

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)	R3年度	R3年度	目標値	
									値 (R1)	実績	達成度	(R6)	
基本目標1 魅力ある「しごと・くらし」づくり	12 ◎有害鳥獣捕獲対策事業	市内において有害鳥獣による人畜並びに農林水産物への被害等の防止を目指し、地域住民、農業関係者等と連携して、その対策を講ずることができるよう支援する。	イノシシ用檻の管理を捕獲隊に業務委託した。また、侵入防止柵の材料を助成し農作物の被害防止を行った。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	鳥獣による農作物被害額	312万円 (H30)	94万円	473.9%	266万円	
	13 ◎農業後継者育成事業	農業の新規担い手の確保・育成を推進するため、団体等や認定農業者に対し、就農に必要な実践的知識・技術の習得を支援する。	農業関係組織に対する助成及び、担い手に対して各種研修会への参加を促した。	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	担い手への農地集積率	75.70%	79.60%	27.3%	90.00%	
	14 ◎6次産業化支援事業	農林業における所得の向上や地域活性化を図るため、農林産物の高付加価値化の取組を支援する。	農業者に対して、農林畜産物に対する高付加価値に関する情報提供を実施した。	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	15 中山間活力創生事業	中山間地域の自然的・経済的・社会的条件が不利な地域に対して、農業を活性化させるための取組を支援する。	南谷地区・宮島地区において、加工品の試作販売や観光地の環境整備などの取組に対して助成した。	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	16 ◎小矢部ブランド推進事業	平成22年度から、小矢部市の知名度向上を目的として、小矢部ブランド認定制度を開始。現在、17製品が小矢部ブランドに認定されており、情報発信に努めている。	小矢部ブランド認定製品について、ブラッシュアップを図るとともに、継続して情報発信に努めた。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった	各方面との連携により、ブランド品の進化と新たなブランド開発が必要。モノだけでなく、コトのブランド化もあれば良い。	事業の継続	小矢部ブランド認定件数(累計)	17件 (H30)	17件	0%	19件	
	17 ◎特産物振興事業	県内イベントに参加するとともに、食品衛生やブランド研修会等を開催することで新たな特産品の開発を進める。	小矢部市の地域特産品の開発と販路拡大を支援するため、小矢部市農業特産物推進協議会運営補助を行った。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	18 ◎おやべの木活用推進事業	おやべの木活用促進事業補助金を交付することで、小矢部市産の木材の活用推進を図る。	小矢部市産の木材を住宅に使用した場合に助成を行うが、令和3年度は利用がなかった。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	おやべの木年間利用量	0㎡ (H30)	0㎡	0%	50㎡	
	19 ◎みどりの森再生事業	荒廃の進む人工林を再生することで、森林の公益的機能の向上を図る。	水土保全や生物多様性の保全など公益的機能の確保や景観の保全を目的とした森林整備を実施するための協定締結の推進を図った。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	20 ◎里山再生整備事業	地域や生活に密着した明るい里山を再生するために、里山の再生整備を推進する。	生活関連施設の保全、森林環境教育の場の提供など、里山の公益的機能の維持向上に資する森林整備の推進を図った。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	21 内水面漁業対策事業	小矢部川水系における資源の保護及び増殖を図り、内水面漁業の育成・啓発を行う。	稚鮎放流事業に助成を行った。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	22 ◎雇用促進支援事業	市外で開催される合同企業説明会等に出展する事業者に対し、その出展に係る費用の一部を補助することで、市内の事業所が優秀な人材を確保することを支援し、本市における産業の振興と市内事業所の発展を図る。	雇用促進支援事業補助金【交付実績：1件 55千円】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	市内従業者数	15,058人 ※①	R5.6公表予定 ※②	—	14,300人	
	23 ◎ワーク・ライフ・バランス、働き方啓発事業	多様な働き方の導入等によりワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む市内事業所を「小矢部市ワーク・ライフ・バランス推進事業所」として市が認定し、広報、市HP等でその取り組みを紹介する。	男女がともに仕事と子育て・介護等の両立が可能な職場づくりを推進するため、部下等のワーク・ライフ・バランスを応援する「おやべイクボス宣言事業所」は、R3年度新たに7事業所が登録し、計61事業所となった。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	24 ◎多文化共生推進事業	外国人が増加する中、多文化共生に対する理解を深めるために、国際交流イベントや日本語を学ぶ機会を提供する。	新型コロナウイルスの感染拡大やイベントを主催していた団体の休会などもあり、多文化共生への理解を深める機会を創出できなかった。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の改善 (外国人のニーズを把握し、それに対応する事業を推進する必要がある。)						
	25 ◎障害者自立支援給付事業	障害特性に応じた就労支援を行うとともに、障害雇用のネットワークづくりや障害者就労に関する啓発活動などを行う。	砺波・小矢部地区障害者雇用連絡会議で、ハローワーク等各機関との情報交換を実施。既存の福祉サービスの活用や、ハローワークでの事業等へつなぐ等の就労支援を実施し、就労機会の増加を図った。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	労働力確保の観点からも、事業継続をすべき。	事業の継続	福祉施設から一般就労への移行者数	2件 (H29)	1件	-16.7%	8件	
	26 ◎生活困窮者自立支援事業	生活困窮者等に対し就労支援員による就労支援や、就労体験等就労準備のための支援などを行う。	就労に課題を抱えている生活困窮者等に相談及び就労の支援を行った。また、一般就労へのステップアップとしてB型事業所での就労前の準備・訓練作業を行うことにより、就労意欲の高揚を図った。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	労働力確保の観点からも、事業継続をすべき。	事業の継続						
基本目標2	27 ◎住宅取得助成事業	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。	109世帯が本助成金を活用した。また、新規転入者は129人であった。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	社会動態	▲69人 (H30)	▲203人 (R3)	-253.8%	80人	
	28 ◎空き家バンク活用促進事業	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。	バンクを活用した売買成約が15件。これにより3世帯の転入につながり、定住促進に寄与している。(助成件数は19件) 固定資産税納税通知書にバンク制度のチラシを同封するなど、広く事業のPRをした。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	助成金を利用した転入者数	157人 (H30)	177人 (R3)	98.3%	180人	
	29 ◎富山で暮らそう！移住支援事業	首都圏等から移住し、県のマッチングサイトを通じて就職した方に対し、移住支援金を支給することで、移住を促進する。(富山県広域連携事業)	移住セミナー(200名)や移住イベント等において本制度を広くPRした。また、1件の実績があった。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
	30 ◎高等教育機関等連携推進事業(大学コンソーシアム富山等との連携)	大学コンソーシアム富山等に調査研究を依頼することで、中山間地域の振興及び定住促進に関する地域課題の解決を図る。	北陸大学との包括連携協定及び富山大学の講座への参加、大学コンソーシアム富山により、人的資源の交流と、知的・物的資源の有効活用を図りながら、幅広い分野で協力・協同し、地域社会の発展や定住推進につながる活動を支援した。また、とやま呉西圏域連携事業として「大学等連携事業」にも取り組んだ。	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。

# 令和3年度おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)	R3年度	R3年度	目標値	
									値 (R1)	実績	達成度	(R6)	
基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”	31	◎ふるさと回帰PR事業	県などが開催する首都圏等での移住・定住支援セミナー等へ参加し、移住を検討している人に対し、小矢部市での生活や魅力についてPRすることで移住・定住につなげる。	県などが開催する東京圏での移住・定住支援セミナー等へ参加(対面相談やZOOM)し、移住を検討している方へ、本市の魅力や生活環境のPR・情報提供を行った。	地方創生に効果があった			(市民満足度調査) 「住み続けた」と考える人の割合	67.00%	15.6% (R2)	-76.7% (R2)	80.00%	
	32	◎おやべ暮らし体験ツアー事業	首都圏等在住者向けに農業体験等の生活体験を行う「暮らし編」、県内学生向けに小矢部市内の企業を巡る「しごと編」のツアーを通じて、移住希望者や学生が小矢部市の具体的なイメージを持つ機会を創出する。	高校生を対象とした「おやべ暮らし体験ツアー」については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。「いつでもおやべ暮らし体験ツアー」は、移住を希望される方に市内を見学できるオーダーメイド方式で行い、小矢部市の具体的なイメージを持つ機会を創出した。(3組が参加)	地方創生に効果があった			ふるさと納税件数(個人分)	648件	1,461件	112.4%	1,300件	
	33	◎おやべ暮らし生活体験事業	空き家等を活用して農家民宿体制を整備し、地方への移住や定住への関心がある方に滞在してもらうことで、小矢部市での生活の様子を肌で感じてもらい、移住・定住につなげる。	実施に向け、調査を進めた。	地方創生に効果があった								
	34	◎ふるさとおやべ応援事業	ふるさと納税を実施することで、財源を確保するとともに、返礼品を通じて小矢部市の特産品のPRを図る。	ふるさと納税者には、礼状と一緒にパンフレットを送付し本市のPRを行った。また、返礼品数や返礼品提供事業者を増やし、寄附額の増加に努めた。 ・ふるさと納税件数 1,465件 ・寄附金額 41,848,421円	地方創生に非常に効果的であった								
	35	おやべで暮らしよう！シティプロモーション事業	小矢部市の魅力度・認知度を向上させることで、小矢部市と多様に関わる人を増やし、移住・定住の促進を図る。また、市民の小矢部市への愛着・誇りを醸成することで、小矢部市の魅力をより倍増させるとともに、将来のUターン等につなげる。	シティプロモーション戦略プランに基づき、本市で初となるシティプロモーションブックを制作した。また、SNSを用いた情報発信に取り組むとともに、市民自らがSNSで投稿することができるよう活用講座を開催した。「市内に働く場所がない」というイメージの払拭と親世代・子世代両方の意識変化を図るため、広報おやべにおいて、市内企業の特集ページ(職場探訪)の連載を行った。	地方創生に非常に効果的であった								
	36	◎ふるさと通信発信事業	小矢部市から離れた人やふるさと納税を通じて縁を持った寄付者との継続的なつながりを保つため、小矢部市の近況や取組などの情報をSNS等を通じて定期的に発信し、「ふるさと」に関心を持ち続けてもらうことで、関係人口を創出し、将来的な移住・定住につなげる。	本市の近況等をSNSを用いて発信し、関係人口の拡大に努めた。 ・インスタグラムフォロワー数 6.0倍(655人)増 ・フェイスブックフォロワー数 1.7倍(58人)増 ・ツイッターフォロワー数 1.1倍(6人)増	地方創生に非常に効果的であった								
	37	都市農村交流対策事業	グリーンツーリズムの取組や滞在型の農作業・農産物加工体験などにより、県外との交流人口の拡大を図る。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止	地方創生に対して効果がなかった ※1		※2						
	38	地域おこし協力隊受入事業	三大都市圏をはじめとする都市地域などから人材を誘致し、地域住民との共同活動支援などの地域協力活動を実施する地域おこし協力隊を受け入れることで、地域力の維持・活性化を図る。	1人が協力隊員として活動した。コロナ禍で移住イベントがオンライン化する中、市の魅力を生中継したり冬の生活を動画にしたりするなどして発信し、小矢部市をまず知ってもらうことで活性化を図った。	地方創生に非常に効果的であった								
	39	テレワーク推進事業	「テレワーク移住をするなら小矢部市」を積極的にアピールするとともに、テレワーク移住を推進する施策を行い、首都圏等からの移住者の増を図る。	山手線のつり革に「テレワーク移住をするなら小矢部市」広告をし、積極的にアピールするとともに、小矢部市で実際にテレワークを体験していただく事業をおこなった。(2組が体験)	地方創生に効果があった			効果検証を行い、次のアクションを考え、実行していくべき。					
	40	◎観光推進事業	「34のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの誘客を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギョーくん」とメルモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。	観光協会や商工会等と連携して、各種まつり・イベント事業や三大祭の保存会等への助成を行い、郷土芸能の保存と伝承に努めるとともに、観光の推進を図った。また、富山県西部地区観光協議会等と連携して、「見て来て体験メルヘンおやべ」のPRに努めるとともに、シンボルキャラクターを活用した観光PRを実施し、本市の知名度向上を図った。	地方創生に効果があった ※1			(市民満足度調査) 観光の振興の満足度	15.90%	9.6% (R2)	-39.6% (R2)	30.00%	
	41	◎稲葉山・宮島峡環境整備事業	稲葉山・宮島峡を継続的に整備し、観光地としての機能を高めることで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。	稲葉山展望写真表示サイン設置業務、休憩所転落防止柵設置工事、竜宮淵転落防止柵修繕工事の実施【実績：950千円】	地方創生に効果があった				産業観光受入人数(累計)	1,323人 (H30)	2,295人	16.2%	7,323人
	42	◎倶利伽羅環境整備事業	倶利伽羅県定公園を継続的に整備し、観光地としての機能を高め、義仲・巴プロジェクトをより一層推進することで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。	火牛像修繕塗装工事、四阿休憩所テーブル・ベンチ修繕工事の実施【実績：1,000千円】	地方創生に効果があった								
	43	◎産業観光推進事業	小矢部市の産業を活かした新たな観光として、「見学型」「体験型」「座学型」に分類した「おやべ型産業観光」を商工会等と連携しながら推進する。	市内事業所において産業観光の受入れを行った。	地方創生に効果があった								

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
 ※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

# 令和3年度おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)
44	◎義仲・巴広域連携推進事業	小矢部市にゆかりの深い木曾義仲と巴の顕彰及びNHK大河ドラマ放映実現に向けた活動に取り組み、地域の活性化につなげる。	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送に当たり、のぼり旗製作・設置や雑誌への広告掲載やSNS（ホームページ・ツイッター）を活用した木曾義仲・巴御前の魅力の情報発信に取り組み、ゆかりの自治体とのお互に、大河ドラマ誘致活動を展開した。	地方創生に対して効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった		当該事業を通じて、小矢部市を知ってもらうこともでき、新たな交流が生まれる。継続した取組みが大事。	観光客入込数	1,174千人 (H30)	788千人	-32.9%	1,280千人
	(再掲) ◎観光推進事業	No. 40に掲載	No. 40に掲載				(再掲) 事業の継続					
45	多言語パンフレット発行事業	小矢部市を紹介するパンフレットの多言語化を進めることで、インバウンドの誘致を図る。	ARコンテンツをパンフレットに導入し、動画やフォトフレームで視覚的にわかりやすく情報発信を行った。	地方創生に対して効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった		※2 事業の継続					
46	日本版DMO活動事業	「選ばれ続ける観光地」をめざし、マーケティングや観光戦略を実践していくための県実施事業に対して一部を負担する。(富山県広域連携事業)	富山県が主体となり、モデルコースの作成やスタンプラリーを実施し、県内市町村で連携して観光誘客促進に努めた。	地方創生に対して効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった		※2 事業の継続					
47	◎Wi-Fi環境整備事業	外国人をはじめとした観光客が、無料で利用できるWi-Fiスポットを県の統一規格で整備することで、観光客自らの情報発信等を促進し、観光PRとしての拡散を期待する。	外国人をはじめとした観光客の利便性向上を図るためにFree-WiFiを整備したことにより、利用料を支出することとなった。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	観光フリーWi-Fiの設置箇所数(累計)	4箇所 (H30)	4箇所	0%	7箇所
48	◎石動駅北地区整備事業	石動駅北地区の再開発事業等を支援することで、市街地の再整備を促進する。	実績なし ※令和4年度に駅周辺の現地測量を行い、現況平面図を作成	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	都市計画道路の整備率	64.7% (H30)	65.2%	100%	65.20%
49	◎宿泊施設立地助成事業	宿泊施設の立地等に対し助成することで、市街地エリアへビジネス・観光客の誘客を図り、賑わいを創出する。	令和2年度に引き続き宿泊施設の誘致・立地を模索したが、長引くコロナ禍により宿泊業界全体が落ち込んでおり、3年度の立地は実現しなかった。	地方創生に効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	(市民満足度調査) 魅力ある市街地形成等の満足度	16.90%	13.5% (R2)	-20.1% (R2)	30.00%
50	◎県営街路事業	社内上野本線、駅南中央線を整備することで、交通の利便性向上を図る。	県営街路負担金 71,701千円 用地買収1式、物件移転補償1式、 工事委託1式、物件調査・用地測量1式	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
51	◎市営街路事業	寄島西中野線、駅南中央線を整備することで、交通の利便性向上を図る。	決算額 164,387千円 用地買収3件、物件移転補償5件、 道路改良工事 1式	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
(再掲)	◎住宅取得助成事業	No. 27に掲載	No. 27に掲載				(再掲) 事業の継続	空き家・空き地情報バンク成約件数(累計)	26件 (H30)	105件	263.3%	56件
(再掲)	◎空き家バンク活用促進事業	No. 28に掲載	No. 28に掲載				(再掲) 事業の継続					
52	◎公園施設管理事業	公園・緑地における遊具の新設や改修、長寿命化対策を推進し、効率的な維持管理を進める。	決算額 44,384千円 公園施設管理業務委託 76箇所 公園施設改修工事 2箇所	地方創生に対して効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		市民満足度調査において、街の中心部に公園が無いという意見が多数あったので、中心部で集約化するのも選択肢の一つではないか。適正な維持管理は必須。	公園遊具の健全率	63.1% (H30)	57.8%	-8.4%	90.00%
53	まちなか等振興事業	商店街等の空き店舗又は空き地を活用し出店する者に対し、創業費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図るとともに、利便性に優れ、魅力ある商店街づくりを促進する。	①店舗等の取得・新築・増築・改築・改修・改装に要する経費の一部助成【実績：8件、10,027千円】 ②店舗等又は空き地の賃借に要する経費の一部助成【実績：1件、450千円】 ③既存店舗のリニューアルに要する経費の一部助成【実績：5件、4,426千円】	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	中心市街地通行者数	297人 (H29)	323人	78.8%	330人
54	地域まちなか商業活性化支援事業	商工会が改修した石動駅前商工会ビル(める・びる)に対し、運営費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図り、魅力ある商店街づくりを促進する。	地域・まちなか商業活性化支援事業補助金の交付【実績：12,500千円】	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	空き店舗等を活用した新規出店数(累計)	36件 (H30)	49件	108.3%	48件
55	おやべ楽市事業	商工会、商店街協同組合、地元商店主が中心となって開催する軽トラ市等の集客イベントに対して支援することで、まちなかの賑わい創出を図る。	【実績：おやべよってかれマーケット事業を6回開催(6月～11月の第3日曜日)】	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					

基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

# 令和3年度おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価 【外部評価】  
市民会議評価 【最終評価】  
本部評価

## KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	KPI				
								指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)
56	◎「縁結びさん」活動事業	「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、登録者の増加を図り、活動を支援する。また、「おやべ縁結びの会」に対し活動補助金を交付することで、縁結びさんの活動について自主性、機動性の確保を図る。	①「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、17人の受講があった。 ②「おやべ縁結びの会」に対し、活動補助金(150千円)を交付し、毎月第3木曜日に縁結び交流サロンを開催し、延べ42人の利用があった。 ③婚活支援事業の業務補助をする「婚活支援員」を1人配置し、SNSでの情報発信や婚活情報チラシ「コイカツ」を発行した。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	「おやべの縁結びさん」による成婚数(累計)	14件(H30)	27件	108.3%	26件
	◎婚活イベント・セミナー開催事業	婚活セミナーやイベント等を実施するとともに、民間団体等が実施する婚活支援イベントに対して補助をすることで、「縁結びさん」の活動との相乗効果を図る。	出会のきっかけづくりをサポートすることを目的としたイベントを3回(うち1回はコロナの感染拡大により中止)、婚活応援を目的とした男女各セミナーを各1回実施した。 ①イベントでは、延べ105人の参加で、12組がカップルとなった。 ②セミナーは、男女別にイベントでの振る舞いや心持ちなどを内容としたものを実施した。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	(若い人はガツガツしていないので)自然体で、参加できるイベントもあっても良いと思う。	事業の継続	出会いイベント参加者数	130人(H30)	105人	-19.2%	150人
58	◎結婚新生活支援事業	新婚世帯に対し、引越し費用等の一部を助成し、結婚に伴う経済的負担を軽減する。	婚姻届の提出時、宅建協会会員事務所へ助成制度チラシを配布。また、市ホームページでも周知を図った。利用は1件であった。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	新婚世帯向け助成制度利用件数	29件(H30)	36件	63.6%	40件
	(再掲) ◎住宅取得助成事業	No. 27に掲載	No. 27に掲載				(再掲) 事業の継続					
59	◎母子保健推進事業	母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療などのサービスを実施することで、母性並びに乳児及び幼児の健康保持、増進を図る。	4か月児健診受診率 98.6% 1歳6か月児健診受診率 98.7% 3歳児健診受診率 100%	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	妊娠11週以下での妊娠届出率	93.7%(H30)	98.0%	68.3%	100%
60	◎不妊治療費、不育症治療費助成事業	不妊治療、不育症治療にかかった費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、少子化対策の充実を図る。	不妊：72件 7553,358円 不育：1件 131,230円 相談件数(不妊、不育)：84件	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	3歳児健診受診率	99.1%(H30)	100%	100%	100%
61	◎妊娠・出産包括支援事業(妊産婦健康診査・交通費助成事業)	妊産婦健康診査をはじめ、妊娠初期から子育て期にわたる支援を実施することで、妊産婦及び乳幼児並びにその保護者の生活の質の改善・向上や胎児・乳幼児にとって良好な生育環境の実現、維持を図る。	妊娠届出数 149件 妊娠週数11週以下での届出率 98.0% 妊産婦健診利用延件数 2,031件 出産等交通費助成件数 137件	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
62	誕生祝い事業	小矢部市の次世代を担う新しい生命の誕生をお祝いするため、お祝い品として市の特産物であるバラ等を贈る。第3子以降の場合は、メルヘン米又は稲葉メルヘン牛と交換できるクーポンも併せて贈る。	お祝い品は選択制であり、以下の内容で贈った。 ①赤ちゃんの名前、身長、体重、誕生日入りの写真立て及びセーフティサイン ②メルヘン米または稲葉メルヘン牛と交換できる特産品引換券1枚 また、共通のお祝い品として祝電とバラがある。第3子以降の場合は、上記に加えて特産品引換券6枚を贈呈した。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
63	おやべママ・パパ講座	ママ・パパ講座を実施することで、妊娠、出産、育児に対する知識の普及と健康な児の出産への援助、母乳育児を推進する。	年9回開催(1クール3回×3クール) 延参加者数45人 (内訳：妊婦29人、家族16人)	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。

基本目標3 未来を拓く「ひとづくり」

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価 【外部評価】  
市民会議評価 【最終評価】  
本部評価

## KPI

事業 番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準 値 (R1))	R3年度 実績	R3年度 達成度	目標値 (R6)		
									値 (R1)					
基本目標3 未来を拓く こどもたち	64	◎子どもインフルエンザ予防接種助成事業	小矢部市内の医療機関で子供がインフルエンザ予防接種を受けた際にかかる費用の一部を助成する。(現物給付により助成)	新型コロナウイルス感染症の影響により、インフルエンザ流行期において混乱が生じることを防ぐため、インフルエンザ予防接種に係る助成内容を見直し(助成額:1回当たり2,000円→3,000円、対象年齢:中学生まで→高校生まで)、助成を行った。 ・利用児童数 2,125人 ・利用延べ回数 3,254回	地方創生に効果が あった			事業の継続	子育て支援センターの年間利用者数	13,091人 (H30)	7,206人	-45.0%	15,000人	
	65	◎こども及び妊産婦医療費助成事業	0歳から中学3年生までの子供の医療費、高校生の入院費及び妊産婦の特定の疾病の医療費を助成する。	各医療費の助成を行った。 ●こども医療費助成延件数:36,479件 ●妊産婦医療費助成延件数:157件	地方創生に効果が あった			事業の発展 (子ども医療費助成制度の対象年齢の拡充を検討する必要がある。)	子育て相談件数(こども課、子育て世代包括支援センター)	632件 (H30)	683件	13.9%	1,000件	
	66	◎保育料軽減事業(第3子無料化)	第3子の保育料を軽減(無料化)し、子育て支援を推進することで、少子化対策を図る。	国の基準を超えて第3子軽減を実施した。 ・3月時点第3子軽減対象者数 152件	地方創生に効果が あった				事業の継続					
	67	◎放課後児童健全育成事業	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に居場所を提供して、その健全な育成を図る。	小学生の人数自体が減少しているが、利用ニーズは年々高まっている。放課後児童クラブの運営を委託し、各施設に指導員を配置し、適切なクラブの運営に努め、児童に対し適切な遊び等の指導を行った。	地方創生に効果が あった				事業の継続					
	68	◎地域子育て支援拠点事業	妊婦や子育て家庭の保護者間の交流の場を設けるとともに、育児不安等に関する相談や指導及び情報提供を行い、各家庭の子育てを支援する。	各子育て支援センターでは、保育士資格を持つ職員を配置し、子育てに関する相談対応、育児講座の実施、保護者同士が交流できる環境を提供した。	地方創生に効果が あった				事業の継続					
	69	◎保育コンシェルジュ及び子育てコーディネーターの配置	総合保健福祉センターに保育コンシェルジュ、各保育所を巡回する子育て支援コーディネーターを配置し、子育て相談や教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供などを行う。	窓口来庁者の子育て支援に関する情報提供、相談業務を行った。また、保育所等を巡回訪問し、保護者と保育所等をつなぐ役割を果たした。保健師を配置することで、母子保健関連の相談体制を充実させた。	地方創生に効果が あった				事業の継続					
	70	◎子どもの貧困対策事業(ひとり親家庭、生活困窮家庭)	ひとり親家庭等の経済的支援を行うとともに母子寡婦福祉会による行事等を通じてふれあいの機会を設け、ひとり親家庭の児童の健やかな成長を図る。	児童の父母等が死亡した子を監護する者に対して遺児奨励金を4世帯に支給した。義務教育終了前の児童を監護するひとり親家庭等に対して遺児福祉金を120世帯に支給した。また、ひとり親家庭等に子どもの学習支援を行った。	地方創生に効果が あった				事業の継続	ひとり親家庭等の学習支援回数	33回 (H30)	41回	11.9%	100回
	71	◎保育所等地域活動推進事業	児童の福祉の向上に資することを目的として地域の需要に応じた幅広い交流活動を推進する。	・公立保育所等(5箇所) 決算額 24,396円 ・民間こども園(3箇所)には補助を実施した。 申請件数 3件、補助金額 150,000円	地方創生に対して効果が なかった ※1		※2		事業の継続	平均施設利用児童数(保育所・認定こども園)	936人 (H30)	912人	-2.6%	950人
	72	◎保育所・認定こども園における体力向上支援事業	運動に関して専門的な知識を持った指導者が子供の実態に応じて、様々な動作や環境を設定することで子供たちの意欲を引き出し、運動に対する興味・関心を深める。	NPO法人おやべスポーツクラブと協力して保育所・こども園に出向き教室を開催した(28回開催)。相手先より教室内容の要望を聞き、子どもたちが運動に興味・関心をもって取り組めるよう教材・教具を工夫しながら指導にあたった。	地方創生に対して効果が なかった ※1		※2		事業の継続					
	73	◎特別保育(休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育)	子育て世代の多様な就労体系に柔軟に対応できるように体制を整備する。	以下の特別保育について実施した。 ・休日保育 2箇所 延べ360人 ・一時保育 4箇所 延べ373人 ・延長保育 8箇所 延べ338人 ・病児保育 1箇所 延べ106人 ・病後児保育 1箇所 延べ13人	地方創生に効果が あった				事業の継続	一時預かりサービス等実施箇所数	4箇所 (H30)	4箇所	0%	6箇所
74	◎発達障害児への支援事業	18歳未満の障害児を対象に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練やその他必要な支援を行う。	障害児に対し、訓練、療育の機会を提供した。 ・児童発達支援 延べ104人 ・放課後等デイサービス 延べ411人 ・障害児相談支援 延べ131人	地方創生に相当程度効果が あった				事業の継続	保育所等巡回訪問実施回数	26回 (H30)	34回	33.3%	50回	
75	◎ことばの教室運営事業	言語発達や発音に問題を抱え、集団生活を送る上で困難を抱えている幼児と保護者への、相談及び支援を行う。	言語発達や発達に不安を感じている幼児を対象に相談・支援及び指導を行った。 ことばの教室利用児童数 52人 延べ件数471件	地方創生に相当程度効果が あった				事業の継続						

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。



# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	KPI				
								指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)
76	◎英語教育推進事業	語学指導の充実を図るため、英語指導助手を小中学校へ派遣する。	市内5小学校及び4中学校、認定子ども園へ英語教育指導助手を派遣した。 【授業回数2,676回】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続	小中学校図書貸出冊数(児童生徒一人当たり)	64冊 (H30)	73.8冊	108.5%	68冊
	◎学校図書館司書配置事業	日々の生活の中で子供たちが読書を楽しむ心や豊かな人間形成を育むため、図書館司書を設置し、読み聞かせや図書指導をする。	小学校の図書室に学校図書館司書を各校1名を専任で配置した。図書管理・貸出業務のほか読み聞かせや授業と連携した図書室の利用・活用を促進するよう努めた。 【学校図書館貸出数(一人当たり) 73.8冊/年】	地方創生に非常に効果的であつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎心身障害児就学支援事業	本人・保護者に対する早期からの相談体制の構築・就学移行期における支援などを行う。	地区相談会を開催し、就学前からの相談体制の構築を行った。 市内保育所等8箇所を訪問し、年中・年長児を中心に就学後も支援を要する児童の実態把握に努めるとともに、11月に教育支援委員会を開催し、専門家も交え、困難を有する児童の学びの場について検討を行った。(新小1対象者6人) 【地区相談会(小矢部・砺波・南砺合同)】全18回、市内相談者24人(うち支援委員会対象6人) 【支援委員会対象者(新小1)の地区相談会参加率(6/6×100)=100.0%】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎「子どもと親の相談員」設置事業	市内小中学校に、不安や悩みを気軽に話すことができ、児童・生徒のストレスを和らげることができる第三者的な立場の相談員を設置する。	市内の5小学校及び4中学校に1名ずつ相談員を配置し、児童・保護者からの相談について対応した。(果費負担含む) 【設置人数 7人(小中兼務2名)】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎不登校児童生徒等適応指導事業	教育相談体制の充実を図るため、児童生徒の臨床心理に関して専門的知識、経験を有するスクールカウンセラーの配置などを行う。	適応指導教室通所者数 中学生2人、小学生5人 通所生徒に対して、相談及び学習指導を実施した。 【不登校児童生徒適応指導教室利用率(通所生徒数/全不登校児童生徒等数) 7人/38人=18.4%】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎特色のある学校づくり推進事業	「総合的な学習の時間」において、各学校それぞれテーマを設定し、本市の歴史、文化、ふるさとを大切に育む心をはぐくむ。	郷土の歴史や祭り、伝統文化等について、様々な知見や技能を有する講師の方を招いて、「総合的な学習の時間」の充実を図りつつ、テーマに基づいた課題に取り組んだ。 【講師招聘者数R2 小学校13人、中学校4人】 【講師招聘者数R3 小学校12人、中学校11人】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎スタディメイト派遣事業	発達障害や特別な支援が必要な児童に対して、学校生活や学習活動の支援を行うための支援員(スタディメイト)を全校に配置する。また、多人数学級(31人~35人の小学3年生までの学級)に支援員を配置する。	通常の学級に在籍する児童のうち、特別な支援を必要とする児童210人に対して、スタディメイト24人を小学校に配置した。 【通常の学級で支援を必要とする児童数 210人】	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続					
	◎社会に学ぶ14歳の挑戦事業	中学2年生が5日間、学校外での職場体験に参加することにより、働くことの大変さや厳しさを学び、規範意識や社会性を高め、将来の生き方を考える契機とする。	令和3年度は中止	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であつた	次年度以降の実施には工夫が必要。	事業の継続					
	◎地域おやべっ子教室推進事業	子供たちを対象に、平日の放課後や土曜日に、小学校や公民館において、地域の多様な技能を持つ方々の参画を得ながら、スポーツ、文化活動、体験活動、ふるさと学習等を実施する。	地区公民館、小学校、文化スポーツセンター等を会場として、11教室(8団体に委託)を延べ290回開催した。 決算額: 4,155千円	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であつた	※2	事業の継続					
◎通学・宿泊合宿事業	自立に目覚め始める小学4年生を対象として、地区公民館で通学・宿泊合宿事業を実施し、友達や大人との共同生活を体験させる。	通学合宿を2館(正得、若林公民館)宿泊学習を5館(松沢、荒川、北蟹谷、水島、東蟹谷公民館)で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。正得、松沢では宿泊を伴わない代替行事を実施した。 決算額: 26千円	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であつた	※2	事業の継続	地域おやべっ子教室推進事業参加児童数(延べ)	8,219人 (H30)	3703	-54.9%	9,000人	
◎子ども読書活動推進事業	子供の読書活動を推進するため、市民図書館に招待するなど小さいころから読書に親しむきっかけを提供する。	保育所(園)招待事業を実施し、243名参加、小学校招待事業は191名の参加であった。ブックスタート事業は、感染症予防のため読み聞かせは行わなかったが、絵本セットの贈呈は156組の親子に行った。	地方創生に非常に効果的であつた ※1	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続						
◎生涯学習推進講座(子ども対象講座)	小学生や就学前児童を対象に、土日や長期休業期間中に、親子参加型のクッキング講座やかるた教室など、子供を対象とした講座を開催する。	夏休み期間中に親子で手作り講座、小学生のクッキング教室、親子で縄文土器づくり体験講座等を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大により、途中で中止とした。147名参加。	地方創生に非常に効果的であつた ※1	総合戦略のKPI達成に有効であつた		事業の継続						

基本目標3 未来を拓く「ひと」づくり

※1…事業執行において、コロナ禍の影響を受けており、KPIの達成度に影響があった。  
※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)	R3年度	R3年度	目標値
									値 (R1)	実績	達成度	
基本目標3 未来を拓く ひとづくり	88 ◎情報教育環境整備事業	小中学校におけるICT機器の整備を行うことで、児童・生徒・教職員の教育環境の向上を目指すとともに、教職員の公務環境の整備を行うことで、業務効率の向上を図り、教職員の多忙化解消により「子供と向き合う時間」を確保する。	各校の教員で構成する「ICT調査検討委員会」において、タブレットや電子黒板等の活用法や利用のルール等を検討した。タブレットを利用した資料配布や毎朝の健康観察をはじめ、デジタル教材を活用し教材準備の時間を短縮するなど、業務の効率化を図ることで教職員が子供と向き合う時間を確保するとともに、学級閉鎖等に伴う自宅待機時にオンライン学習等による学校とのつながりを継続することができた。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	担任の支援サポートの回数を月2回から増やして欲しい。	事業の発展 (授業の内容や活用方法について、さらなる充実を推進する必要がある。)	小中学校コンピュータ整備率	6人/台	1人/台	100%	1人/台
	89 ◎男女共同参画推進事業	小矢部市男女共同参画推進員の活動を支援するとともに、男女共同参画に関する施策の推進に努める。	○男女共同参画社会の実現に向けて積極的に活動している小矢部市男女共同参画推進員37人に対し支援を行った。 ○男女共同参画推進員による出前講座において、女性の参画や登用について働きかけを行った。 ○市が設置する審議会などへの女性登用を積極的に促進した。 ○男女共同参画プラン（第2次）改定版に掲げた施策を推進した。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	小矢部市が設置する審議会等における女性委員の割合	25.6% (H30)	23.9	-6.6%	34.00%
	90 ◎ワーク・ライフ・バランス（イクボス推進事業）	男性の育児休業取得の推進など、仕事と家庭や子育てとの両立を図りやすい職場づくりを推進する。	○市内企業に「男女共同参画への取組に関するアンケート」及び「イクボス宣言」についての意向調査を実施し、結果を公表した。 ○富山労働局の作成するパンフレットの配布・設置を行った。 ○出前講座にワークライフバランスやイクボスについての内容を取り入れ、啓発を行った。 ○事業所に男女ともに仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりを目指す「イクボス」の趣旨の理解をもとめ、「イクボス宣言」事業所となっていたために優良事例表彰を行った。 ○新たに7事務所にイクボス宣言事務所登録いただきました。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	男女共同参画に対する理解・認識を深めるための講座や講演への参加者数	370人 (H30)	120人	-67.7%	450人
	91 ◎自主防災組織育成事業	地域における防災力向上及び防災活動を促進するため、各地区自主防災組織に対して助成を行う。	18地区すべての自主防災組織において防災資機材の整備点検等が実施されたことにより、地域における防災力の向上と防災活動の促進が図られた。また、17地区の自主防災組織に対して防災訓練や防災活動への支援を行った。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	防災訓練を実施した地区数	13地区 (H30)	11地区	-15.4%	16地区
	92 防災士養成事業	地域防災力を強化するため、担い手となる防災士の養成を図る。	当該事業により計画よりも1名多い6名が新たに防災士の資格を取得され、市全体で90名が市防災士連絡協議会会員として登録された。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	防災士養成数	76人 (H30)	90人	53.8%	102人
基本目標4	93 備蓄整備事業	自然災害等の発生に備え、食料や資機材など備蓄品の整備を行う。	備蓄計画どおり災害備蓄用食料（ドライカレー100食、五目ごはん100食、わかめごはん100食、たけのこごはん100食、きのこごはん100食、玄米梅がゆ250食、新生児用粉ミルク8缶、幼児用粉ミルク8缶、備蓄用ビスケット4,800食、備蓄用飲料水3,060本）及び資機材（可搬型蓄電システム1台、災害時用自動圧着式トイレ5台）を整備することができた。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
	94 ◎消防団活性化事業	消防団員が各種活動を通じて地域住民と交流を図ることにより、消防団に対する理解や団員の確保を図る。	地域行事へ消防団として参加することにより、地域住民に対して消防団活動への理解や周知を図った。また、各地区において新入団員の確保に努めた結果、令和4年3月31日時点の消防団員は、令和3年4月1日時点から1人増の441人となった。	地方創生に対して効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・各町内からのお試し入団のような制度があれば、知ってもらえる機会となる。 ・家族（特に奥さん）へのインセンティブがあれば協力を得やすいのでは。	事業の継続	消防団員の充足率	96.60%	92.84%	-3.9%	98.00%
	95 ◎私設消防隊消防施設整備事業	地域の消防防災体制の充実を図るため、私設消防隊が整備する小型動力ポンプ等について助成を行う。	令和3年度は私設消防隊から消防資材整備に対する助成申請はなかったが、当該事業を継続することにより、地域の消防防災体制の維持が図られた。	地方創生に対して効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		地域のことを知っているのは、地元人間なので有事の際に必要な機器が欠けることのないようにしてほしい。	事業の継続				

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
 ※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)
基本目標4 みんなで支え合うしくみづくり	96	◎交通安全対策事業	小矢部警察署、小矢部市交通安全協会をはじめ関係団体と連携し、交通安全キャンペーン等を実施することで、市内での交通事故の発生を抑制する。	関係機関と緊密に連携し、季節ごとの交通安全運動や毎月2回の交通安全県民の日における街頭指導等を展開したことにより、市内での交通事故の発生を抑制した。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	交通事故発生件数	62件 (H30)	48件	233.3%	56件
	97	防犯カメラ設置事業	安全なまちづくりのために、自治会等が地域の犯罪を抑制する目的で防犯カメラ等を設置することに対し、補助金を交付する。	各地区の自主防犯活動の推進を目的とし、防犯カメラ設置事業として殖生自治会及び新西教職員住宅町内会の防犯カメラ設置に対し補助金を交付した。また、本町交差点及び小森谷地内（旧シゲタ動物薬品工業付近）に、市直営の防犯カメラを設置した。	地方創生に対して効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	刑法犯認知件数	80件 (H30)	87件	-58.3%	68件
	98	LED街路灯等導入促進事業	市内全域の防犯灯をLED化することで、明るいまちづくりの推進、環境に配慮した低炭素社会へ寄与するとともに、消費電力削減による財政負担の軽減を図る。	決算額 3,888千円 LED防犯灯リース 2,544基 (H26.3～R6.3)	地方創生に対して効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	老朽危険空き家(特定空き家)の除却率	43.30%	83.33%	166.7%	50.00%
	99	◎危険空き家除却支援事業	空き家の管理等について相談を受けるとともに、老朽危険空き家の解体及び除却に対して補助金を交付することで、安心・安全な生活環境の保全、地域の良好な景観の保全に努める。	老朽危険空き家の解体及び除却に対して補助金を6件(内4件特定空き家)交付し、安心・安全な生活環境の保全、地域の良好な景観の保全に努めた。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	休日在宅当番医制度実施率	100%	100%	100%	現状維持
	(再掲)	◎空き家バンク活用促進事業	No.28に掲載	No.28に掲載			(再掲)事業の継続	休日在宅当番医制度実施率	100%	100%	100%	現状維持
	100	◎地域医療体制整備事業	地域医療体制を充実し、市民が安心してより質の高い医療を地域でうけることができるよう、基幹医療機関及び医師会への体制等整備補助及び支援を行う。	救急告示病院運営補助 43,082,000円 公立学校共済組合北陸中央病院運営補助 67,000,000円	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	休日在宅当番医制度実施率	100%	100%	100%	現状維持
	101	◎救急医療体制整備事業	関係機関と連携し、休日、夜間における一次、二次救急医療体制の維持、充実を図る。	在宅当番医制事業委託料 3,198,000円 病院群輪番制事業費補助金 8,908,416円 砺波医療圏急患センター運営負担金 7,032,000円	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	休日在宅当番医制度実施率	100%	100%	100%	現状維持
	102	◎健康づくり事業(がん検診、健康診査、健康教育、健康相談)	各種検診、相談事業等を通じ、疾病予防と早期発見、健康の保持増進を図り、市民の健康寿命の延伸への寄与を図る。	がん検診 集団肺がん検診受診率41.7% 健康教育 実施回数54回 参加延人数143人 糖尿病予備軍の割合 (R2) 男性27.1%、女性35.7%	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	糖尿病予備軍の割合	男性 27.2% (H30) 女性 33.1% (H30)	男性 27.1% 女性 35.7%	4.5% -7.3%	男性 25.0%以下 女性 30.0%以下
	103	◎感染予防事業	各種定期予防接種の実施に加えて、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備や接種を実施する。	(令和4年3月31日現在) 新型コロナウイルスワクチン接種 1回～3回接種(延べ) 57,556回	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	人口10万人当たりの自殺者数	22.5人 (H30)	17.1 (R2)	80.6%	15.8人
	104	◎食生活改善推進事業	地域において栄養及びバランスのとれた食生活に関する知識の普及を目的に活動している食生活改善推進員の養成及び育成を行う。また、市食生活改善推進協議会の地域組織活動等を支援する。	健康づくり栄養教室(5回) 延15人出席 食生活改善推進員研修会(2回) 延105人出席 食生活改善事業講習会(13回) 延458人参加	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	人口10万人当たりの自殺者数	22.5人 (H30)	17.1 (R2)	80.6%	15.8人
	105	◎地域自殺対策緊急強化事業	市民一人ひとりが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、自殺を予防する地域づくりを推進する。	ゲートキーパー養成講座 2回/年開催 46人	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人
106	◎ひきこもり対策事業	ひきこもり支援に関する情報発信、関係機関とのネットワーク構築、支援拠点づくり、サポーター派遣を通じて、ひきこもり支援の基盤を構築し、早期支援、自立支援を実施する。	広報誌にひきこもり相談(健康相談)等の開催について毎月掲載を行った。 随時、関係課や厚生センター等と連携を取りながら、相談対応を行った。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の発展(ひきこもり状態にある人の把握や相談体制の充実及び居場所づくりを推進する必要がある。)	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人	
107	◎地域包括支援センター運営事業	介護保険法に定められた地域包括支援センターの設置により、高齢者が住み慣れた地域で、健康で自立した生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の推進を図る。	地域包括支援センターの運営 在宅介護支援センター委託 3か所 総合相談件数 延2,606件 地域ケア推進会議等 延177回 介護予防ケアマネジメント業務 2,727件 等	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人	
108	◎在宅医療・介護連携推進事業	在宅等での療養生活が継続できるよう、在宅医療と介護の連携を促進し、地域包括ケア体制の充実を目指す。	在宅医療推進連絡会議 1回 多職種合同事例検討会 1回・研修会 1回 医療クリアファイル作成(1,000部) 等	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人	
109	◎権利擁護推進事業	成年後見制度等の権利擁護事業の周知に努めるとともに、虐待の早期発見や消費者被害等の防止を含めた高齢者の権利を守る体制の推進を図る。	権利擁護に関する相談件数 311件	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人	
110	◎介護予防・日常生活支援総合事業	住み慣れた地域で高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、高齢者の自立支援と要支援等状態の重度化防止に努める。	ふれあいいきいきサロン参加回数 0.9回/人 感染症対策のため、開催休止等の措置があり、参加回数は減少傾向にある	地方創生に相当程度効果があった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	認知症サポーター数	10,937人 (H30)	11,534人	20.1%	13,900人	

※1…事業執行において、コロナ禍の影響を受けており、KPIの達成度に影響があった。

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)
111	◎超高齢社会就労機会拡大事業	市シルバー人材センターは、市内の高齢者（おおむね60歳以上）のうち健康で働く意欲の有者に労働の場を提供し、その経験や技術を地域の発展に活かしてもらうことを目的として運営されている。また、高齢者の生きがい対策と介護予防の視点もある。	高齢者の経験や技能を生かした働く場を提供し、高齢者自らの生きがいと社会参加の促進を実施した。 登録者数 333人（男205人・女128人）	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	ふれあいいきいきサロン参加回数	1.3回/人 (H30)	0.9回/人	-30.8%	1.5回/人
112	老人福祉センター利用促進事業	外出機会を創出し健康増進を図り、明るく豊かな長寿社会を築くため市内在住の高齢者に老人福祉センターの利用券を配布する。	高齢者に老人福祉センターの利用券1人2枚配布及び割引券1人10枚を配布した。発行人数 9,978人（利用券4,868枚使用 割引券12,408枚使用）	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続					
113	◎市営バス運行事業	主に小矢部市民の移動手段として、市内全域において5路線のメルバス、5路線のデマンド型乗合タクシーを運行する。	主に小矢部市民の移動手段として、市内全域において5路線のメルバス、5路線のデマンド型乗合タクシーを運行した。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の改善 (高齢者等の移動需要を考慮した市営バスの運行形態の転換を検討する必要がある。)	メルバスの利用人数	52,373人 (H30)	41,895人	-20.0%	55,845人
114	◎石動駅パーク＆ライド促進事業	石動駅周辺の駐車場を利用するパーク＆ライドを促進し、石動駅の利用者の増加を図ることで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。	パークアンドライド実施日数 119日 利用台数1171台	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	石動駅乗車人員	1,557人/日 (H30)	1,364人/日	-12.4%	1,566人/日
115	◎並行在来線対策事業	あいの風とやま鉄道株式会社と連携し、石動駅の利用者の増加を図ることで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。	沿線自治体と連携してあいの風とやま鉄道(株)の経営を支援するとともに、鉄道利用者の利便性が向上するよう働きかけを行った。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続					
116	◎買い物支援事業	買い物弱者の日常的な買い物の利便性向上を図るため、小矢部市内において移動販売・宅配サービス等の買い物弱者支援事業を実施する事業者に対し、補助金を交付する。	補助金の交付実績はなかったが、過去の補助事業で整備した車両による移動販売が実施されている。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	移動販売・御用聞き利用者数	11,260人 (H30)	11,260人	100%	現状維持
117	◎おやべ型1%まちづくり事業	個人市民税の1パーセントに相当する額を財源として、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として、市民自らが考え、みんなでいっしょに行動する事業に対し、補助金を交付して活動を支援する。	採択件数67件、補助対象事業62件（うち新規3件、継続59件）の事業に対し補助金8,499千円を交付し、延べ27,158人の事業参加があった。実施された事業の内訳は、イベント・市のPR等が15事業、環境整備が30事業、防災防火等が7事業、福祉活動等が10事業であった。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	おやべ型1%まちづくり事業の採択数	83事業	67事業	-19.3%	84事業
118	◎コミュニティづくり推進事業（コミュニティ助成事業）	地域のコミュニティ活動の充実を図るため、コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対する助成を行う。	五社、岡村の2自治会に対し、コミュニティ活動に係る備品購入費用の助成を行った。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
119	◎「小さな拠点」形成支援事業	県や関係機関と連携し、中山間地域の活性化や「小さな拠点」の形成に関する情報を提供することで、地域の自主的な取組を支援する。	中山間地域の代表者等に、県及び関係機関からの情報提供を行った。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	「小さな拠点」箇所数(累計)	1箇所	1箇所	0%	3箇所
120	地域総合福祉推進事業	すべての人が地域で安心して暮らせ、互いに自立を支え合う福祉コミュニティの推進を図るため、地域の支援を必要とする人に、地域住民自らがチームを結成し、見守りや声かけなどの個別支援を行うケアネット活動に対し補助を行う。	地域総合福祉推進連絡協議会（市内18地区社協長、地域福祉サポーターで構成）を年6回開催し、取り組み状況の地区間での定期的情報交換を行い、地域における諸問題の解決や福祉活動の推進を図った。地域住民のニーズに対応した地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動や生活支援等を推進した。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	ケアネット活動による支援件数	18,877件 (H30)	22,578件	112.0%	20,150件
(再掲)	◎多文化共生推進事業	No. 24に掲載	No. 24に掲載				(再掲) 事業の改善	多文化共生に関するイベント(年間)	1回	0回	-50%	3回
121	全国的スポーツ大会及びスポーツイベント開催	スポーツ少年団から一般の競技スポーツの全国的大会やスポーツイベントの開催誘致を行う。	北信越高等学校体育大会ホッケー競技や全国高等学校総合体育大会ホッケー競技が本市を会場に開催された。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	市スポーツ施設の利用者数	220,000人 (H30)	137,459人	-37.5%	230,000人
122	競技力向上事業	中学生・高校生選手の育成・強化を図るために、本事業による指導者の招聘等により、将来オリンピック等の各種大会に出場できるよう競技力の向上を目指す。	中学校部活動所属部員対象にプロスポーツ選手を指導者として招聘し少年スポーツ教室（野球教室）を開催した。	地方創生に効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	市内でスポーツをする施設が少ない、若年層の体力向上にもつながるので、しっかり取組んで欲しい。	事業の継続	週1回以上スポーツを実施する人の割合	35.0% (H28)	59.1% (R3)	131.3%	45.00%
123	ホッケークラブチーム育成支援事業	市内ホッケー成年クラブチームが出場する日本リーグや社会人大会等への活動補助を行う。	市内ホッケー成年クラブが出場する日本リーグや社会人大会等への活動補助を行った。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続					
124	◎クロスランドおやべ自主事業	クロスランドおやべを活用しながら、市民に質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。	自主事業として18事業を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、6事業を中止とした。実施した事業はコロナ対策を実施しながら芸術文化に触れる機会の創出に努めた。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	クロスランドおやべ自主事業参加者数	49,774人 (H30)	26,640人	-46.5%	50,000人
125	◎アートハウスおやべ自主事業	アートハウスおやべを活用しながら、子供を対象としたワークショップや展示会など様々な事業を展開する。	自主事業として7事業を実施し、その中のワークショップ事業では夏のワークショップ、冬のワークショップ、年間見聞ワークショップを開催した。個展・グループ展については18件が開催された。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	小矢部市大谷博物館入場者数	1,514人 (H30)	865人	-42.9%	2,000人
126	◎小矢部市大谷博物館活用事業	文化的価値を有する大谷邸を博物館として公開し、郷土資料等を展示することにより、幅広い年齢層にとってのふるさと教育の場とする。	国登録有形文化財である大谷家住宅において民俗資料の展示や名譽市民の紹介を行うとともに、東京オリンピックの開催にあわせた企画展「大谷米太郎氏と東京オリンピック1964大会」を開催した。	地方創生に対して効果がなかった ※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続					

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
 ※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

基本目標4 みんなで支え合う「しくみづくり」

# 令和3年度おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

事業担当課評価

【外部評価】  
市民会議評価

【最終評価】  
本部評価

KPI

事業番号	事業名	事業概要	R3年度の取組み及び実績	事業効果	事業の評価	市民会議意見	今後の方針	KPI					
								指標名	現状(基準)値 (R1)	R3年度実績	R3年度達成度	目標値 (R6)	
127	◎伝統文化・芸能保存継承事業	指定文化財である石動の曳山祭や津沢夜高あんどん祭をはじめ、獅子舞用具の修繕等に補助を行い、地域の伝統文化・伝統芸能の保存継承と活性化を図る。	指定文化財である石動曳山1件の修繕費補助を実施した。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	伝統芸能の保存等団体数	110団体	110団体	100%	現状維持	
128	◎小矢部三大祭保存伝承事業	小矢部三大祭である、石動曳山祭・おやべの獅子舞祭・津沢夜高あんどん祭の保存・伝承について検討する。	三大祭の保存・伝承について、各団体間で情報交換を行った。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
129	◎おやべ祭り等補助事業	中心市街地等での賑わい創出のため、小矢部三大祭やおやべ祭りの事業主体に補助を行う。	コロナ禍ではあったが、祭り・イベントを実施した団体に補助を行った。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
130	◎ごみ減量化及び再生利用推進事業	ごみの分別収集や紙類の資源回収など、市民・市民団体・事業者・市が協働して、ごみの発生抑制・再利用・再生利用を進め、ごみとして焼却・埋立処分される量を極力減らし、資源として循環する社会の形成を目指す。	ごみの分別収集や古紙の資源回収など、従来からのごみの発生抑制・再利用・再生利用を進めたことに加え、新たにフードドライブ事業を実施し、食品ロスの削減を行った。	地方創生に対して効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続	ごみの排出量	9,446t (H30)	9,522t	-0.8%	8,394t	
131	◎地球環境保全対策事業(ペレットストーブ設置推進事業)	地球温暖化対策を推進するとともに木材利用の拡大による関連事業の活性化に寄与するため、ペレットストーブ設置に対し補助を行う。	木質バイオマス資源を活用した木質ペレットを燃料とする機器の補助制度についてホームページ等の広報媒体にて周知を行った。	地方創生に対して効果がなかった※1	総合戦略のKPI達成に有効であった	※2	事業の継続						
132	◎高岡地区広域圏事務組合事業	高岡市、氷見市、小矢部市の3市で構成する組合において、共同事務として地域振興事業、ごみ処理事業等を運営する。	組合の地域振興事業の「広域まちづくり会議」に出席し、組合のソフト事業に提言し、圏域の活性化に取り組んだ。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	高等教育機関等との連携事業数(累計) (大学コンソーシアム、COC+、地域包括連携協定、呉西圏域)	10件 (H30)	15件	20.0%	35件	
133	◎とやま呉西連携事業	県西部6市で形成するとやま呉西圏域ビジョン懇談会や、呉西圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的な取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。	県西部6市で形成する連携中核都市圏(第2期)において、31事業を連携して実施した。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続						
(再掲)	◎高等教育機関等連携推進事業(大学コンソーシアム富山等との連携)	No. 30に掲載	No. 30に掲載				(再掲)事業の継続						
134	◎障がい者地域生活支援事業(地域生活支援拠点等整備事業)	砺波市、南砺市との連携により整備した地域生活支援拠点において相談支援や緊急時の受入を実施することにより、障がい者福祉の取組を推進する。	地域生活支援拠点等事業実施要綱を整備し、圏域内の事業所に対して説明会を開催し、緊急時の受け入れ等事業内容を説明した。R4以降各事業所の①相談、②緊急時の受け入れ・対応、③体験の機会・場の提供、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり機能の認定を開始し、圏域内の障がい者福祉の取組を推進した。	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	地域生活支援拠点等の整備数	0件	0件	0%	1件	
135	◎情報ネットワーク推進事業	市が保有する情報をオープンデータとして公開・提供することにより、市民の利便性向上や地域活性化を図る。	市が保有する情報をオープンデータとして新たに5件の情報を公開し、市全体で18件のオープンデータを公開することができた。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続		市がオープンデータとして公開しているデータ数	1件	18件	120%	15件
136	◎RPA等推進事業	人工知能やロボットによる自動化を進めることで、事務作業等の効率化や行政サービスの向上を図り、より質の高いサービスを提供する。	職員の事務作業等の効率化や市民に対し行政サービスの向上を図るため、他自治体のAI(人工知能)やRPA(ロボットによる自動化)の導入状況について情報収集を行い、AIは1件、RPAは4件の実証事業に取り組んだ。	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の発展 (事務の効率化や働き方改革の観点から費用対効果も勘案しながら、業務の検討・導入を推進する必要がある。)						

※1…事業執行において、コロナ禍の影響をうけており、KPIの達成度に影響があった。  
 ※2…コロナ禍の影響を受けたものであり、事業自体はKPIの達成に資するものと判断できる。

基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”